

子どもたちは川で遊びたいと思ってる

国土交通省
認定
環境省

RACは川の指導者を育成する国の認定団体です

安全
River Activities Council
川遊び

RAC 川の研修カタログ

— River Activities Council since 2000 —

www.rac.gr.jp

RAC 川の基本研修ラインアップ

～地域のニーズに合わせてオーダーメイドも可能です～

川遊び経験の少ない方に最適

RAC水辺のリスクマネジメント講座※▶P5



基本時間:3時間 室内講習
判例から学べる水辺の危険箇所や安全対策講習
※「行政向けリスクマネジメント講座」等アレンジ自在

RAC初めての川遊び教室 ▶P4



基本時間:3時間 室内講習
子どもと一緒に川遊びしたい方にお勧めの講習

RAC子ども水辺安全講座 ▶P3



基本時間:3時間～ 室内外講習
子どもが楽しく水辺の危険と身の守り方を学べる講座

RAC水辺の生きもの講座▶P4



基本時間:2.5時間 野外中心講習
子どもに生きもの探しの楽しさを伝えられる講座

RACリーダー講座 ▶P7



基本時間:21時間 野外中心
実習中心の川の指導者ベーシック講習

RACアシスタント・リーダー講座 ▶P6



基本時間:6時間 室内外講習
川の基礎とセルフレスキューを学べる講習

RACインストラクター講座 ▶P8



OJT120時間

RAC学校リーダー講座 ▶P7



基本時間:7時間 野外中心 / 教員対象
教員向けに選択された野外実習中心講習

お仕事で川に関わる方に最適

RACの講習は「川に学ぶ社会」
を目指した河川審議会答申等
に基づいて構築されています。

その他 専門研修

RAC水辺のレスキュー講習 ▶P9



基本時間:5時間 野外中心
身近なものなどでの救助法を学ぶ講習

RAC水辺のファーストエイド講習 ▶P9



基本時間:5時間 室内講習
水辺等の野外での応急手当などを学ぶ講習

Eボート指導者講習 ▶P10



基本時間:5時間 野外中心
Eボートの基本的取扱・操船法を学ぶ講習

レスキュー・インストラクター講習 ▶P11



基本時間:8時間 野外中心
流水での泳法及び救助方法を学ぶ講習

RAC学校連携コーディネーター講座 ▶P12



基本時間:基礎及び応用課程(3時間)・専修課程(4.5時間)
川を活用した学習指導を支援する方法を学ぶ講座

RAC講座基本仕様

分類		水辺の入門的講座				川の指導者講習				専門講習						
		子ども水辺安全講座	初めての川遊び教室	水辺のリスクマネジメント講習	水辺の生きものの講習	アシスタントリーダー講座	学校リーダー講座	リーダー講座	インストラクター講座	水辺のレスキュー講習	水辺のファースエイド講習	Eポート指導者講習	レスキュー・インストラクター講習	学校連携 コーディネーター講習		
														基礎課程	応用課程	専修課程
基本講習時間		半日～(3h)～	半日 (3h)	半日 (3h)	半日 (2.5h)	1日 (6h)	1日 (7h)	3日 (21h)	3日 (23.5h)	1日 (5h)	1日 (5h)	1日 (5h)	2日 (8h)	半日～(3h)～	半日～(3h)～	1日 (4.5h)
主な講習場所		室内 野外	室内	室内	野外	室内 野外	野外	野外	野外	野外	室内	野外	屋外	室内	室内	室内
難易度	一般向け やさしい	●	●	●	●	●										
	指導者向け 入門クラス	▲	▲	●	▲	▲	●	●	●	●	●	●		▲	▲	▲
	指導者向け 専門クラス								●	●	●		●	●	●	●
推奨対象	シニア	▲	●	●	●	●	●	●	▲	▲	●	●	▲	●	●	●
	大人	▲	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	子ども	●	●		▲											
講習内容		川の楽しさを体験し、危険を事前に予知する能力を養い、これ evitarする方法を体感する。	お子さんと遊ぶ際の場所の選び方から、ライフジャケットの選び方等を学ぶ。	判例から学べる水辺の危険箇所や安全対策を学ぶ。	水辺の生きものの探しの楽しさ、伝え方を学ぶ。	川の基礎とセルフレスキューを学ぶ。	学校区内の川を使った体験学習等を行う上で最低限必要な知識・技術を学ぶ。	川で指導的役割を担う方に最低限必要な知識・技術を学ぶ。	川での体験活動プログラムの実施現場で、責任者としての役割を習得する。	身近な物での救助方法や、川専用で作られた救助用ロープによる救助方法などについて学ぶ。	主に水辺で起こりうる傷病に特化した対応を学ぶ。	Eポートのコンセプトや基本的な取り扱い方法を等を学ぶ。	流水での泳法や、スローバックでの救助方法等について学ぶ。	川での体験的活動を学習指導案的に組み立てていく上で必要な考え方を学ぶ。		
受講条件							教員	16歳以上(※18歳まではジュニアリーダーとして登録)	RACリーダー＋OJT120H		普通救命講習等修了者	RACリーダー※		RACリーダー	基礎課程＋OJT修了者	応用課程＋OJT修了者
費用	受講料 目安	※	1,000	※	※	8,000	※	20,000	20,000	8,000	8,000	10,000	20,000	※	※	※
	修了証発行手数料等	—	500	500	500	1,000	1,000	5,000	5,000	500	500	3,000	1,500	3,000	3,000	3,000
掲載ページ		3	4	5	4	6	7	7	8	9	9	10	11	12	12	12

※受講料は講座の実施スタイルに依ります。目安の数字が入っている講座も同じです。

RAC 子ども水辺安全講座

子ども時代にふるさとの川で思いっきり遊ばせてもらった経験は、その後の地域の宝ものになります。川の楽しさを体験し、危険を事前に予知する能力を養い、これを避けるための方法を身に着けるこの講座は、地域創生への一押しの講座です。

カリキュラム時間票

科 目	講義	実技	合計
①水辺で遊ぼう	60	※1	
②水辺の不思議	120	※1	
③自分を守る	180	※1	
④水辺から学ぼう	240	※1	
合 計 (分)	600	※1	

※1 この時間数は、1泊2日の合宿時における時間の目安です。

※1 開催地の状況に応じて、半日程度でのプログラムから1週間程度の長期キャンプへのアレンジが可能です

RACリーダー講座の中で「川に学ぶ体験活動の指導法」や「参加者を知る」等の一部重ねて実施することも可能です。
親子参加のプログラムにすることも可能となっています。



講座の目標

- (1) 川で活動することの楽しさと、そこに潜む危険性について知ります。
- (2) 知識と活動方法を実際に体験し、水辺の事故を起さない実際的な方法を身につけます。

RAC 初めての川遊び教室



川は子ども時代に学ぶべき要素にあふれていますが、でも、どこに行けばよいの？とか、持ち物は？など、気になることも出てくるかと思われます。この講座では、お子さんと遊ぶ際の場所の選び方から、ライフジャケットの選び方等を室内で学ぶ、川遊びの入門教室です。

カリキュラム時間票

科 目	講義	実技
①オリエンテーション	0.5	
②PFD(ライフジャケット)とは	0.5	
③川での装備	0.5	
④安全に遊べる場所選び	1	
⑤ふりかえり	0.5	
⑥裏ワザ紹介		
合 計 (時間)	3	



RACリーダー講座の中で「川に学ぶ体験活動の基礎技術」や「参加者を知る」等の一部重ねて実施することも可能です。親子参加のプログラムにすることも可能となっています。

講座の目標

- (1) 川の楽しさを知ります。
- (2) 安全対策を知り、親子での楽しい川遊びにつなげます。

RAC 水辺の生きものの講習



水辺の自然や生態を理解し 水辺の活動における自然との付き合い方考え方を共有したい人にお勧めの講習です。

カリキュラム時間票

科 目	講義	実技
①オリエンテーション	0.5	
②捕虜と観察	1.5	
③ふりかえり	0.5	
合 計 (時間)	2.5	



RACリーダー講座の中で「川に学ぶ体験活動の基礎技術」等の一部重ねて実施することも可能です。

講習の目標

- (1) 生物捕獲や観察を通して生き物の特徴を見て取れるようになる。
- (2) 水辺現場の生物の特徴から多様な生息環境の重要性を理解する。
- (3) 自然への負荷の少ない活動の考え方を深める。要救助者発見時の初期評価ができる。

RAC 水辺のリスクマネジメント講座

水辺の事故の未然防止の考え方を学べる講習となっています。

漠然と「川はキケン」と感じている方や、地域行事や子ども会等において、川ベリでキャンプ等の担当になった方などにお勧めの講座です。

カリキュラム時間票

科 目	講義	実技	合計
①オリエンテーション	0.5		0.5
②川の危険箇所を探す ※1		1	1
③グループワーク ※2		1	1
④補足説明	0.5		0.5
合 計（時間）			3

※1 映像教材等を活用し、映像教材の中で題材となっている危険箇所について自ら気づくことをねらいとしています。

※2 水辺での事故事例をグループ毎に検証し、その教訓を生かし、今後への改善点を見出します。

講座の目標

- (1) 水辺の危険箇所を学びます。
- (2) 水辺の事故を防ぐ考え方を身につけます。

RACリーダー講座の中で「安全対策について」や「川に学ぶ体験活動の基礎技術」等の一部含め実施することも可能です。

自治体職員向けに重点項目を特化したプログラム等へのアレンジも可能となっています。

RAC アシスタントリーダー講座

川の基礎とセルフレスキューを学べる講習となっています。
川に適したライフジャケットの選び方や着方など、
川が初めての方、泳げない方も安心して受講できます。

カリキュラム時間票

科 目	講義	実技	合計
①川に学ぶ体験活動の理念	1		1
④ 安全対策について※1	1	1	2
⑤ 川に学ぶ体験活動の基礎技術※2	1	1	2
⑥ 対象となる参加者のことを知る	1		1
合 計 (時間)	4	2	6

※1 安全対策の講義・実習の時間において、活動におけるリスクの考察、危険箇所の把握、セルフレスキューの実際等を含める。

※2 基礎技術の講義・実習の時間において、個人装備のリスクと使い方や管理、PFD体験、スローバック救助、流水での基本的泳法、監視、点呼等を含める。

RACリーダー必須科目21時間のうち、RAC指定の科目6時間以上修了したものを「RACアシスタント・リーダー」として称します。

受講後、3ヶ年度（年度開始日は4月1日）間はRACリーダー必須科目の修了単位※1とすることができます。

※ この単位は、原則として同じ指導者養成団体もしくはRACトレーナーの行う講座で受講した場合に有効です。



講座の目標

- (1) 指導者養成団体の水辺の活動において、補助スタッフとして活動できること。
- (2) 補助スタッフとして活動する指導者養成団体の水辺の活動において、セルフレスキューができること。

川に学ぶ体験活動を推進する RAC 指導者のベーシック講習です。

川で指導的役割を担う方に最低限必要な知識・技を学ぶことができます。

川が初めての方も、川でお仕事をしている方も、必須のプログラムです。

カリキュラム時間票

科 目	講義	実技	合計
① 川に学ぶ体験活動の理念	1		1
② 川という自然の理解	1	2	3
③ 川と人、社会、文化の関わり	1	2	3
④ 安全対策について	1	4	5
⑤ 川に学ぶ体験活動の基礎技術	1	2	3
⑥ 対象となる参加者のことを知る	1	1	2
⑦ 川に学ぶ体験活動の指導法	1	2	2
⑧ プログラム作りの基礎知識	1		1
合 計	8	13	21

※RACリーダーは各地の指導者養成団体が、それぞれの活動に必要な人材を養成するために開催されています。

※教員向けに上記から7単元分（1日講座）を厳選した「RAC 学校リーダー講座」はフォローアップ研修としても実施されています。

■受講者の声

以前はどんな川かも知らない状態で川に入ったり、救護がまともに出来る人がいないのに崖に上って飛び込んだりしていました。

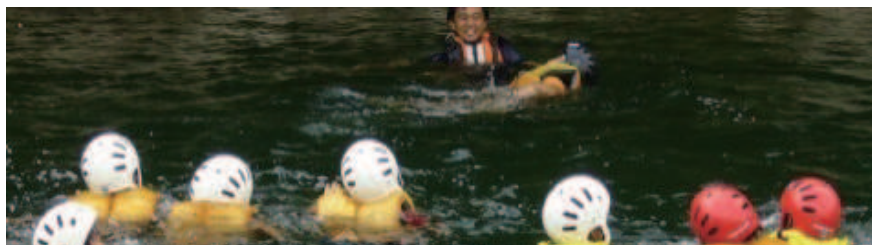
今まで無事故でしたが、RAC の授業を受けて、これまでやっていたことがどれだけ危なかったのかを知ることが出来ました。



講座の目標

- (1) 川に学ぶ体験活動の指導者にとって必要な実習プログラムを、広く浅く全般について遊び楽しみながら学ぶ。
- (2) 川に学ぶ体験活動協議会が示した 8 つの共通科目全般を浅く広く学ぶ。

RAC river activities council インストラクター講座



川での指導実習やレスキューが中心の講座です。
川での体験活動プログラムの実施現場で、責任者としての役割を担う方にお勧めです。

カリキュラム時間票

科 目	講義	実技
① 川に学ぶ体験活動の理念	1	
② 川という自然の理解	3	
③ 川と人、社会、文化の関わり	3	
④ 安全対策について	3	
⑤ 川に学ぶ体験活動の基礎技術	4.5	
⑥ 対象となる参加者のことを知る	3	
⑦ 川に学ぶ体験活動の指導法	3	
⑧ プログラム作りの基礎知識	3	
合 計 (時間)	23.5	

RACインストラクター講座を受講後、所定の様式にて80時間以上のJT(川に関する体験活動において指導的立場に関わること)の修了記録を提出することで、認定を受けられます。

さらに、その次のクラスのRACコーディネーター講座を修了すると、川の指導者養成講座を開催できるRACトレーナー研修会を受講することが可能となります。

▷専任講師等の育成について

各講座の講師を育成するための講師養成会を随時開催。

川の指導者講習

講座	主任的講師名称	受講要件(認定要件は別)
RACリーダー養成講座等川の指導者講習共通	RACトレーナー	1)コーディネーターとして登録後2年間の活動実績を有すること。 2)所属団体が指導者養成事業において、企画運営に30日以上関わっていること。 3)活動実績を所属団体が証明できること。 4)所属団体より推薦を受けていること。 5)25歳以上であること

水辺の入門的講座

講座	主任的講師名称	受講要件(認定要件は別)
RAC水辺のリスクマネジメント講座	専任講師	1)満20歳以上であること。 2)RACインストラクター(旧1種-以下同じ)以上の資格を有していること、または、RACリーダーとして水辺での体験活動の経験を10日以上有し、且つRAC所定の活動記録を提出できること(RACインストラクター以上の登録者は不要)。 3)受講に必要な費用を事前に納付していること

※その他、「RAC子ども水辺安全講座」はRACインストラクター以上、「RACはじめての川遊び教室」はRACリーダー以上が講師として関わることとなっています。

専門研修

講座	主任的講師名称	受講要件(認定要件は別)
RAC水辺のレスキュー講習	専任講師	上記「水辺のリスクマネジメント講座の受講要件」と同じ
RAC水辺のファーストエイド講習	専任講師	上記「水辺のリスクマネジメント講座の受講要件」の他下記を満たすこと 1)医療従事者(医師、看護師等)であるか、2日間以上の野外救急法(ウィルダネスファーストエイド)講習を修了し、それを証明できること。
Eボート指導者講習	専任講師	1)満20歳以上であること。 2)RACインストラクター(旧1種-以下同じ)以上の資格を有していること、または、RACリーダーとして水辺での体験活動の経験を2年以上かつ20日以上有し、且つRAC所定の活動記録を提出できること(RACインストラクター以上の登録者は不要)。またはNPO法人地域交流センターより上記と同程度の能力を有すると推薦され、所定の申請書類を提出できること。 3)受講に必要な費用を事前に納付していること
RAC学校連携コーディネーター養成講座	学校連携講師	(1)「学校連携コーディネーター養成講座(基礎課程)」の講師は、「学校連携コーディネーター養成講座(応用課程)」を修了し且つ基礎課程講座の開催を指導的立場で補助し、又はRAC学校連携部会から推薦された同程度の能力を有する者で、審査認定委員会において承認されたもの。 (2)「学校連携コーディネーター養成講座(応用課程)」の講師は、「学校連携コーディネーター養成講座(専修課程)」修了者として認定され、又はRAC学校連携部会から推薦された同程度の能力を有する者で、審査認定委員会において承認されたもの。 (3)「学校連携コーディネーター養成講座(専修課程)」の講師は、RACトレーナーとして登録し、「学校連携コーディネーター養成講座(専修課程)」修了者として認定され、又はRAC学校連携部会から推薦された同程度の能力を有する者で、審査認定委員会において承認されたもの。

水辺のレスキュー講習



河原でのバーベキュー等で見られる身近かな物での救助方法や、川専用に使われた救助用ロープによる救助方法などについて学びます。川原に行く機会のある、指導的立場の方に必須の講座です。

カリキュラム時間票

科 目	講義	実習
① オリエンテーション	0.5	
② 事故事例を知る	0.5	
③ 溺れている人にその場で何が出来るか考える。(グループワーク)	1	
④ スローバックレスキューの説明	0.5	
⑤ スローバックレスキューの実習		2
⑤ ふりかえり	0.5	
合 計 (時間)	5	

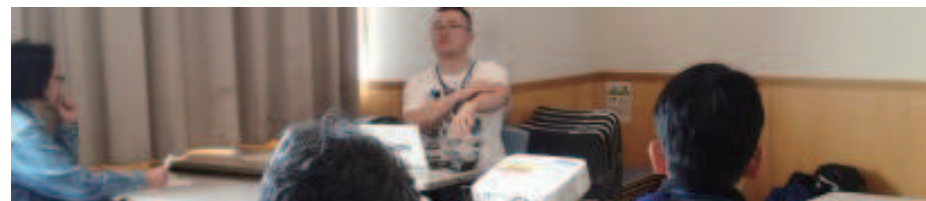


RACリーダー講座の「川に学ぶ体験活動の基礎技術」や「安全対策」等の科目の一部として実施することも可能です。
ライフジャケットの着用及びスローバックによる救助練習も行います。

講座の目標

- (1) 溺れている人を助けるためにできることを考え、気づく。
- (2) セルフレスキューファーストの認識をする。
- (3) スローバックによるレスキューの技術を学び、安全なレスキュー技術を理解する。
- (4) 水辺のレスキューに関する知識を広める。

水辺のファーストエイド講習



主に水辺で起こりうる怪我や病気を中心にその対応を学びます。子どもが訪れる水辺環境など、半野外環境での活動に従事する方へお勧めの講座です。

カリキュラム時間票

科 目	講義	実習
① オリエンテーション	0.5	
② 疾病の理解と対処法	2	
③ 救急隊への情報提供方法	0.5	
④ 包帯法 シーン固定テーピング		1.5
⑤ ふりかえり	0.5	
合 計 (時間)	5	



RACリーダー講座において、「安全対策について」の科目に一部含め実施することも可能です。

原則として消防等で行う普通救命講習を修了済みの方が受講可能です。

講座の目標

- (1) 要救助者発見時の初期評価ができる。
- (2) 各疾病、怪我の特徴、対処法を覚える。
- (3) 救急隊へ情報を引き継ぐことができる。
- (4) 水辺のファーストエイド知識を広める。



E ボート指導者講習会

E ボートのコンセプトや基本的な取り扱い方法を等を学びます。水害時における減災対策や小学校の総合的学習での活用をはじめ、E ボートを大会に関わる方、地域振興のアクティビティとしてクルーズの展開を行う方等にお勧めの講座です。

カリキュラム時間票

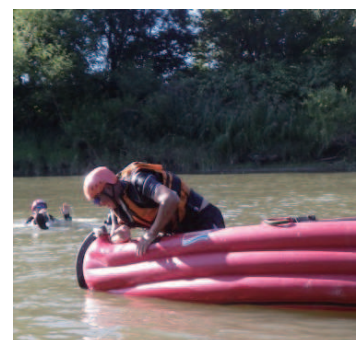
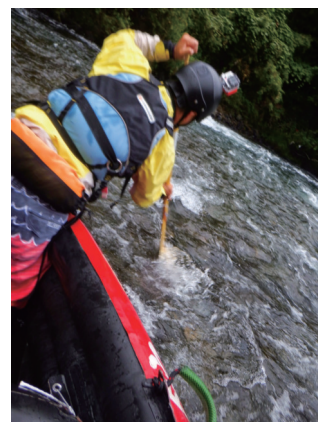
科 目	講義	実習
① オリエンテーション	0.5	
② Eボートのコンセプトと活用例について		
③ Eボートの取り扱いについて	1.5	
④ Eボート・ツアーの実際	2.5	※1
⑤ ふりかえり	0.5	
合 計 (時間)	5	※2

※1 流水でのツアーを想定していますが、静水会場では静水限定での修了証を発行しています。

※2 E ボート指導者講習会の講師となるための「専任講師養成会」も随時行っています。

RACリーダー講座において、「川に学ぶ体験活動の基礎技術」や「川に学ぶ体験活動の指導法」等の一部含め実施することも可能です。

原則としてE ボート乗船経験者で、かつ、RACリーダー修了もしくは同等の安全対策に関する能力を有する方が受講可能です。

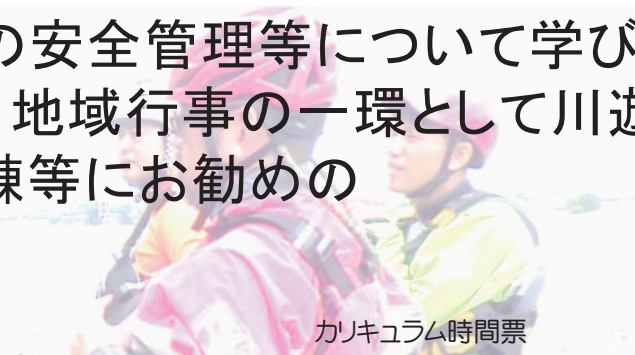
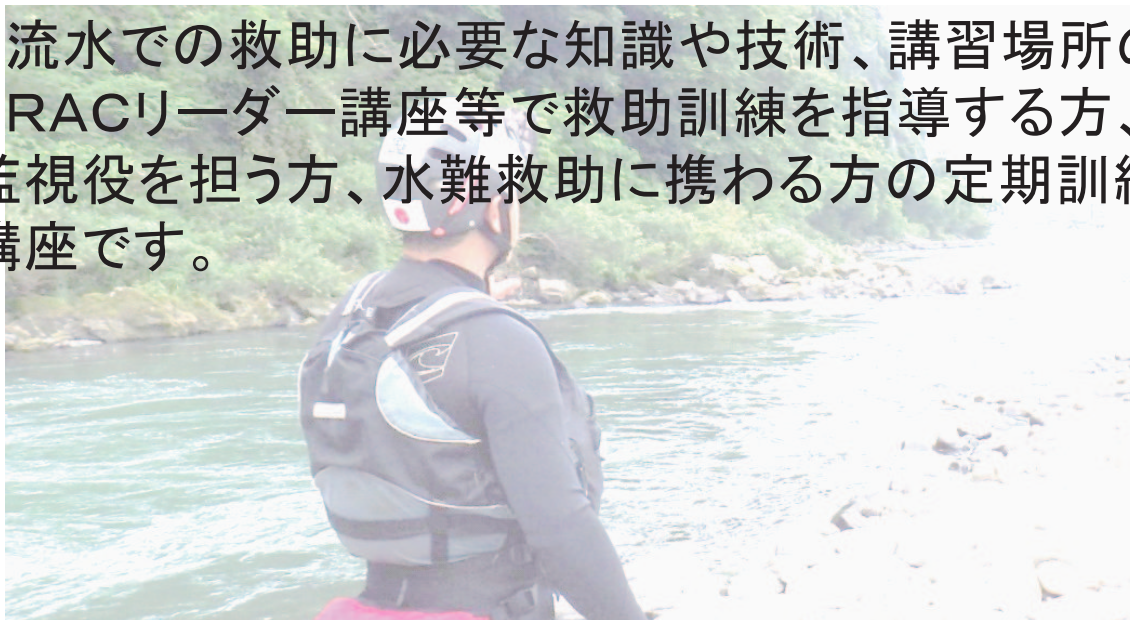


講座の目標

- (1) E ボート(インフレータータイプ)の活用方法やその開発理念を知る。
- (2) E ボート(インフレータータイプ)の安全な取り扱いについて知る。

RAC レスキュー・インストラクター講習会

流水での救助に必要な知識や技術、講習場所の安全管理等について学びます。
RACリーダー講座等で救助訓練を指導する方、地域行事の一環として川遊びの監視役を担う方、水難救助に携わる方の定期訓練等にお勧めの講座です。



カリキュラム時間票

科 目	講義	実習
① オリエンテーション	0.5	
② 救助活動の基本	1.5	
③ チームレスキューとロープワーク	1	
④ 安全指導		0.5
⑤ レスキューの基礎技術		1.5
⑥ レスキュー技術の応用		1
⑦ チームレスキュー実技		1.5
⑧ ふりかえり	0.5	
合 計 (時間)	8	



講座の目標

- (1) 溺れている人が近くにある場合の対応を学ぶ。
- (2) スローバックレスキューの安全な実施方法を知る。

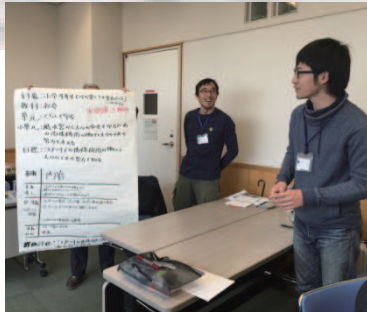
RAC水辺のレスキュー講習は、身近な物でのレスキューが中心ですが、この講習は流水での泳法やスローバックでの救助に関する知識・技術が中心となります。

RAC 学校連携コーディネーター講座

主に小学校で川を活用した授業や課外活動、学校行事等に関わる方にお勧めの講座です。学習指導要領や各単元の進め方等を理解することを通じて、川での体験的活動を学習指導案的に組み立てていく上で必要な考え方等を学びます。

カリキュラム時間票

科 目	講義	実習
①ガイダンス	0.5	
②指導要領と学習指導	1	
③子どもの能力	1	
④水辺体験と教科学習の関連	1	
合 計（時間）	3.5	※



《基礎課程OJT》
学校関連サポート
(8h以上)
①RAC加盟学校ほか
提携校等の活動をサ
ポートする。



応用課程
講座(3H)

《応用課程OJT》
学校活動サポート
(8h以上)
①RAC加盟学校ほか
提携校等の活動を指
導的立場等でサポー
トする。



専修課程
講座(4.5H)

《専修課程OJT》
実践
・自ら作成したカリキュラムの実践を行う
(2)評価
・実践した活動をPDCAサイクルにより評
価改善を行う

講座の目標

- (1) 小学校等の教科学習等で水辺を活用した体験学習の指導に関わることができる。
- (2) 学校教育で求められる指導者の役割と指導方法を理解する。

RACリーダー講座を修了した方、もしくは受講中で修了予定の方が受講可能です。学校の授業をサポートすることを通じて、川を活用した高度な学習指導力を習得していくことを狙いとしています。

展開例① 川の利活用が少ない地域で

1年目

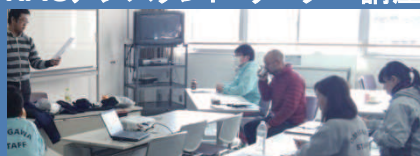
RAC初めての川遊び教室



基本時間：3時間 室内講習
子どもと一緒に川遊びしたい方にお勧めの講習

まずは、地域の方と、川遊びの安全確保の方法や楽しさを共有します。

RACアシスタント・リーダー講座



基本時間：6時間 室内外講習
川の基礎とセルフレスキューを学べる講習

子ども水辺安全講座の実施に向けて、そのサポート役となれる方向けに講習を行います。

RAC子ども水辺安全講座

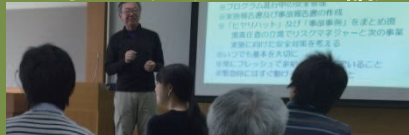


基本時間：3時間～ 室内外講習
子どもが楽しく水辺の危険と身の守り方を学べる講座

RACインストラクターの指導のもと、かつての川の水浴場等で、夏休み中に、子ども向けの安全講座を行います。

2年目

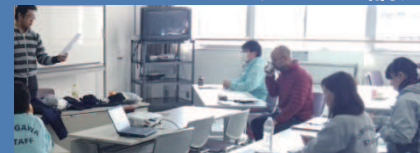
RAC水辺のリスクマネジメント講座※



基本時間：3時間 室内講習
判例から学べる水辺の危険箇所や安全対策講習
※「行政向けリスクマネジメント講座」等アレンジ自在

1年目に関わった方等を対象に、過去の事故事例等から事故の未然防止の方法等を学びます。

RACアシスタント・リーダー講座



基本時間：6時間 室内外講習
川の基礎とセルフレスキューを学べる講習

昨年度の参加したお子さん保護者等にも呼びかけて、新しく子ども水辺安全講座のサポート役となれる方の講習を行います。

RAC子ども水辺安全講座



基本時間：3時間～ 室内外講習
子どもが楽しく水辺の危険と身の守り方を学べる講座

RACインストラクターの指導のもと、地域の小学校等にも案内を配り、夏休み中に、子ども向けの安全講座を行います。

3年目

RAC水辺の生きもの講座



基本時間：2.5時間 野外中心講習
子どもに生きもの探しの楽しさを伝えられる講座

地域の状況に応じて、RAC子ども水辺安全講座で生きもの観察をサポートできる人材を育成したり、Eボートを使った体験活動のサポーターを育成していきます。

RACリーダー講座



基本時間：2.1時間 野外中心
実習中心の川の指導者ベーシック講習

RAC子ども水辺安全講座



基本時間：3時間～ 室内外講習
子どもが楽しく水辺の危険と身の守り方を学べる講座

展開例② 川の利活用が出前教室等で行われている地域で

1年目

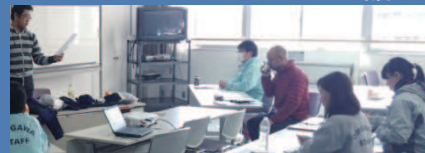
RAC水辺のリスクマネジメント講座※



基本時間: 3時間 室内講習
判例から学べる水辺の危険箇所や安全対策講習
※「行政向けリスクマネジメント講座」等アレンジ自在

水辺活動に関心のある方を対象に、過去の事故事例等から事故の未然防止の方法等を学びます。

RACアシスタント・リーダー講座



基本時間: 6時間 室内外講習
川の基礎とセルフレスキューを学べる講習

子ども水辺安全講座の実施に向けて、河川管理者や市民団体等の方向けに講習を行います。

RAC子ども水辺安全講座



基本時間: 3時間～ 室内外講習
子どもが楽しく水辺の危険と身の守り方を学べる講座

RACインストラクターの指導のもと、地域の小学校等にも案内を配り、夏休み中に、子ども向けの安全講座を行います。

2年目

RAC水辺の生きもの講座



基本時間: 2.5時間 野外中心講習
子どもに生きもの探しの楽しさを伝えられる講座

RAC子ども水辺安全講座で生きもの観察をサポートできるように指導のポイントを学びます。

RACリーダー講座



基本時間: 2.1時間 野外中心
実習中心の川の指導者ベーシック講習

アシスタントリーダー受講者等を中心に、子ども水辺安全講座の補助指導者となれる方を養成します。

RAC子ども水辺安全講座



基本時間: 3時間～ 室内外講習
子どもが楽しく水辺の危険と身の守り方を学べる講座

RACインストラクターの指導のもと、地域の小学校等の課外活動や総合的学習の時間等に水辺安全講座の出前講座を行います。

3年目

RAC学校リーダー講座



基本時間: 7時間 野外中心 / 教員対象
教員向けに選択された野外実習中心講習

RAC子ども水辺安全講座



基本時間: 3時間～ 室内外講習
子どもが楽しく水辺の危険と身の守り方を学べる講座

RAC学校連携コーディネーター講座



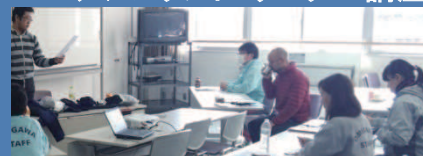
基本時間: 基礎及び応用課程(3時間)
川を活用した学習指導を支援する際の連携方法を学ぶ講座

小学校の先生も川の指導者になることは、地域の川を利活用することに繋がります。学校で大切にする「気づき」を育てる指導方法などを地域の大人が学ぶことは、その地域全体が子どもの素晴らしい学びの場になっていきます。

展開例③ 川の利活用が定期的に活発に行われている地域で

1年目

RACアシスタント・リーダー講座



基本時間: 6時間 室内外講習
川の基礎とセルフレスキューを学べる講習

水辺の安全利活用に関わる河川管理者や市民団体等の方向けに講習を行います。

RAC子ども水辺安全講座



基本時間: 3時間～ 室内外講習
子どもが楽しく水辺の危険と身の守方を学べる講座

RACインストラクターの指導のもと、地域の小学校等の課外活動や総合的学習の時間等に水辺安全講座の出前講座を行います。

RACリーダー講座



基本時間: 21時間 野外中心
実習中心の川の指導者ベーシック講習

アシスタントリーダー受講者等に、ステップアップの講習会を行います。

2年目

Eボート指導者講習



基本時間: 5時間 野外中心
Eボートの基本的取扱いや操船法を学ぶ講習

RAC学校リーダー講座



基本時間: 7時間 野外中心 / 教員対象
教員向けに選択された野外実習中心講習

RAC子ども水辺安全講座

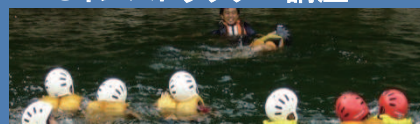


基本時間: 3時間～ 室内外講習
子どもが楽しく水辺の危険と身の守方を学べる講座

地域での川の関わり状況に応じて、講座の組み合わせや追加等も可能です。
発表会やフォーラムやワークショップ、防災教室など、その地域での既存事業との相乗効果を目指した取り組みへの発展も可能です。

3年目

RACインストラクター講座



基本時間: 23.5時間 野外中心
レスキューと指導実習を重視したステップアップ講習

川の水浴場 社会実験

基本時間: 半日～3日程度
夏休み中に安全講習とセットで実施

RAC子ども水辺安全講座



基本時間: 3時間～ 室内外講習
子どもが楽しく水辺の危険と身の守方を学べる講座

RAC学校連携コーディネーター講座



基本時間: 基礎及び応用課程(2時間)
川を活用した学習指導を支援する際の連携方法を学ぶ講座

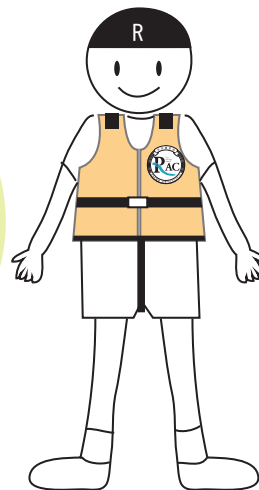
地域の自治体と一体となった取り組みへと発展することで、国土交通省施策の「かわまちづくり」事業へと繋げていくことも可能です。

RAC 川育ライフジャケット

川遊びには、こんなライフジャケットを選ぶことが理想です。

①流れの中での活動でも体にしっかりとフィットし、脱げにくい構造であること。
・子ども用のライフジャケットに股下ベルトが備わっていること

②川での活動などで動きやすく、泳ぎやすいこと。



③水中において、顔面を水上面に支持し、身体が垂直よりも後方に傾き、呼吸が確保しやすい浮遊姿勢となるように つくられたものであること。

④川での活動に必要十分な強度が確保されていること。



自然体験活動の普及に伴い、川での体験活動現場ではライフジャケットの着用は一般化しつつあります。普及に伴い、市場へ様々なライフジャケットが出回るようになりましたが、我が国には川遊び用のライフジャケットとして推奨できる「安全基準」や「試験・認定制度」が未だ存在していないのも事実です。そこで、RACは、子どもも大人も安全に楽しく川で遊び学べるよう、「川という自然環境下での体験活動に適したライフジャケット」（川育ライフジャケット）認定規則を設定しました。認定を受けたライフジャケットは、本体または付属資料に「RAC 川育ライフジャケット」の認定マークが付いています。

すべては



の為に・・・

RAC 全国一斉1万人・川の流れ体験



RACでは、川遊びが多くなる夏休みに先駆け、川の流れ体験を実施しています。

本体験を通じて、川の面白さ、豊かさ、恵み、怖さ、自らを守る知恵、川の現状等を伝え、川に学ぶ社会の実現をめざした活動を全国規模で普及していきたいと考えています。2016年2月現在の延べ人数4万6386名参加しています。

※全国で川の流れ体験を行っております。多数のご参加をお待ちしています。
<http://www.rac.gr.jp/08ichimankawanagare/kawanagare.html>

RAC 全国大会



【背景と主旨】

川に学ぶ社会を全国各地域に広めることやRAC会員の交流等を目的に開催しています。平成10年度から平成12年度までは国主導で実施されてきましたが、平成13年度からはRACの構成団体を事務局とし、民間主導により毎年全国各地で展開しています。開催地域の特色を活かしながら、全国各地の団体による事例紹介や分科会、体験プログラムを入れた活動を実施しています。大会を通じて開催地域の河川活動に学ぶことも楽しみの一つです。初期の共通テーマであった「魅力ある川づくり」「正しく広範な知識・情報の提供」「川に学ぶ機会の提供」「主体的、継続的な活動のために」の4つのテーマを継承しつつ、RACの5つの活動理念をクロスさせて実施しています。

RAC事業実績メディア協力・等

発注者	年	事業名称	事業内容
国土交通省九州地方整備局八代河川国道事務所	H26・H27 年度	球磨川水辺交流活動の運営	球磨川における安全な河川利用に資するため、学生、一般住民等を対象として安全な河川利用（水難事故防止訓練等）を目的とした講習会及び体験学習会を運営するもの
国土交通省中国地方整備局太田川河川事務所	H23	水辺の安全教室運営（太田川）	河川を利用するにあたり、川の面白さや自然の豊かさ等を体験を通じて教育するとともに、川の特性や危険を察知する感覚を身につけ、河川水難事故のリスクについて体験的に理解できるよう講師が河川利用者を対象に実施する講座の運営補助を行うもの
国土交通省中国地方整備局山口河川国道事務所	H22	佐波川子どもの水辺安全講座	河川を利用するにあたり、川の面白さや自然の豊かさ等を体験を通じて教育するとともに、川の特性や危険を察知する感覚を身につけ、河川水難事故のリスクについて体験的に理解できるよう講師が河川利用者を対象に実施する講座の運営補助を行うもの
国土交通省中国地方整備局太田川河川事務所	H21	水辺の安全教室運営（太田川）	河川を利用するにあたり、川の面白さや自然の豊かさ等を体験を通じて教育するとともに、川の特性や危険を察知する感覚を身につけ、河川水難事故のリスクについて体験的に理解できるようにするものである。そのため、河川水難事故防止に関するスキルアップを推進するために、河川利用者を対象に安全面や河川水難事故防止対策等の指導を行うもの
国土交通省九州地方整備局	H20	河川水難事故防止に関する講習会運営業務	本業務は、国土交通省職員・行政関係者・学校関係者・市民団体を対象に河川における水難事故防止を目的とした講習会を九州管内の一級河川において実施するとともに、受講生に対するアンケート調査により講習会の効果検証を行うものとする。
国土交通省九州地方整備局筑後川河川事務所	H18	川の指導者養成講座運営	行政と住民が協同で河川の利用活用と子供たちの環境学習を推進し、河川への理解を深めていくことを目的として、川の指導者養成講習会を開催するものである。これにより、将来に向けて良好な河川環境の維持、地域と連携した河川管理体制の構築に寄与するものである。
国土交通省九州地方整備局熊本河川国道事務所	H17	川の安全対策、安全管理に関する技術講習会運営	河川内での現地調査、環境調査、水質事故対応等の実施及び水生生物調査、リバースクール等の実施の際の安全対策や安全管理等に関する知識や技術の取得を目的に、川で活動している市民団体等を対象に、講習会を実施するものである。
国土交通省九州地方整備局筑後川河川事務所	H17	川の指導者養成講習会運営（くろめウス、日田） H17	本業務は行政と住民が協同で河川の利用活動と子供達の環境学習を推進し、河川の理解を深めていくことを目的として、川の指導者養成講習会を開催するものである。これにより、将来に向けて良好な河川環境の維持、地域と連携した河川管理体制の構築に寄与するものである。
国土交通省九州地方整備局筑後川河川事務所	H16	川の指導者養成講習会運営（大川）H16	行政と住民が協同で河川の利用活動と子供達の環境学習を推進し、河川の理解を深めていくことを目的として、川の指導者養成講習会を開催するものである。これにより、将来に向けて良好な河川環境の維持、地域と連携した河川管理体制の構築に寄与するものである。
東北地方整備局		RAC川のリーダー養成講座in秋田	実際に川で活動している市民団体等を対象に、川に学ぶ体験活動を普及させるため、指導者（認定者）による川の指導者の育成を目的としてRAC川のリーダー養成講座を実施するものである。

企業・メディア協力

ライオン サマーキャンプキャンペーンの提供実施 サントリー 安全講習、アドバイザー派遣 滋賀 JC 川での体験活動の講師派遣 小学館 施設管理職員への指導者育成

NHK「ゆうどきネットワーク」 水難事故から身を守るために(中継) NHK「おはよう日本」 川での安全教室(中継) 朝日新聞「環境ルネサンス」 川に遊び学ぶ TBS「ピンポン」 水難事故から身を守るための特番

NHK「NHK ニュース7」川での救助方法を学ぶ 新潟日報 水辺活動指導者向け講習 NHK「あさイチ」「水辺のひやりはっと」に関する情報提供等 広島テレビ「ニュース」 水辺の安全教室(太田川河川事務所事業)

テレビ神奈川「ニュース930」(夜9時30分～)内特集コーナー ウェブマガジン「大人の心得帳」※現地取材 TBS「NEWS ZERO」「増水河川の見分け方と危険、身の守り方について」 NHK「情報まるごと」(総合 午後2時05分～)

NHK 首都圏情報センター ※事務局取材他 福井新聞「街路樹」 口名田小学校の水辺体験学習 お出かけ情報サイト「いこーよ」※事務局取材 愛媛新聞 防府日報 神奈川新聞 毎日新聞 中日新聞 福井新聞 農業共催新聞

中国新聞 静岡新聞 北海道新聞 高知新聞 徳島新聞 宮崎日日新聞 赤旗新聞 他 WEB 情報機関など多数

講座等に関するお問合せ

NPO法人川に学ぶ体験活動協議会(Rac)事務局

TEL03-5832-9841 受付時間:13:00~17:30(月~金)

メールでのお問合せ

rac@rac.gr.jp

RACのホームページ

<http://www.rac.gr.jp>